

鈴木清太郎先生論文集 頒分申し込みについて

日本農業気象学会では、九州大学名誉教授、元気象大
 学校講師 故鈴木清太郎先生の生涯に亘る独創的研究の
 記録を残すために、鈴木先生論文集を下記のように発刊
 することになりました。予約による限定出版と致します
 ので、御希望の方は葉書で下記宛申し込み下さい。

記

申 込 先 〒271 松戸市松戸648 千葉大学園芸学部内

鈴木先生記念事業委員会

三原義秋

予約締切 昭和53年11月30日

記

鈴木清太郎先生論文集複写製本発刊計画

発 刊 者：日本農業気象学会鈴木先生記念事業委員会

刊行予定：1978年12月25日

内 容：鈴木先生論文90篇のうちの約70篇を写真複
 写印刷。B 5判にそろえる。

頁 数：400頁内外

価 格：3,500円内外。(頒布数によって多少変わ
 ります。見積：400頁200部で3,800円、400頁
 400部で2,700円)

解 説：先生の御業績を次の四部門に分けて、それ
 ぞれに解説をゆかりの方から頂きました。

理論物理領域：米国アーカンソー大学 宇宙化学専攻
 黒田和夫教授

火災・応用物理領域：元気象庁長官 島山久尚博士

気象・地理物理：元管区気象台長 山岡 保氏

元地方気象台長 三浦武亜氏

農業気象・農業物理：元日本農業気象学会長

大後美保博士

◇黒田博士解説抄◇ S.Suzuki の「高温における熱平
 衡」…のこの考えは元素の起原に関する e-process とし
 て教科書に記載されているが、これが「Suzuki の理論」
 であることを知っている学者は日本において殆んどいな
 い。半世紀を経た今日、外国で書かれた論文や教科書を
 読んでみると、これがいかにも外国人の学説であるよう
 に書かれている。(中略)一人の学者が極めて独創的な
 業績を成就した場合、その正当な評価が何十年も遅れる
 ことがある。その人の考え方が新しすぎて同時代の学者
 に十分理解できないためである。(中略)日本の物理学者
 者 S.Suzuki は生前、ノーベル賞も文化勲章も受けな
 かったが、筆者は、彼こそ真の意味の「人間国宝」であ
 ったと考えている。

投稿募集： 質疑応答《特別企画》エレガントな解説を求む

気象学を専門としない一般の人から次のような質問を
 受けました。あなたなら、どのように答えますか、わか
 り易いエレガントな説明を求めます。下記の要領に従っ
 て奮ってご応募ください。

記

1) 1問につき、400字詰原稿用紙5枚以内で答えてく
 ださい。

2) 何問答えていただいても結構です。

3) 誌上匿名可。

4) 各問題ごとに天気編集部でコンテストを行ない、
 最優秀作品に賞品を贈呈します。

Q1：大気は、なぜ、対流圏と成層圏に分かれているの
 ですか。

Q2：対流圏では、なぜ、1 km 上昇すると気温が 6.5°C
 下がるのですか？

Q3：なぜ、同じ天気が続かないで、晴れた
 り、曇ったり、雨が降ったりするのですか？ ま
 た、その変化が不規則に生じるのはどうしてでしょ
 うか？

Q4：高気圧に前線がないのはなぜですか？

Q5 高(低)気圧の最高(低)記録はどのくらいですか？
 これには限界があるのですか？

Q6：台風の眼はどうしてできるのですか？

Q7：竜巻はなぜ生じるのでしょうか？

Q8：積雲はどうして上に向かってモクモクしているの
 ですか？ 下に向かってモクモクしている雲はあり
 ますか？

Q9：コリオリの力を説明してください。

Q10：温帯性高低気圧の成因と言われる傾圧不安定とは
 どのような現象でしょうか？